

F-07F

'14.5

ISSUE DATE:

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書〈詳細版〉

NTT
docomo

はじめに

「F-07F」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- F-07Fは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れことがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。

お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

認証会社：日本ペリサン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc., Go Daddy, Inc.

- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

SIMロック解除

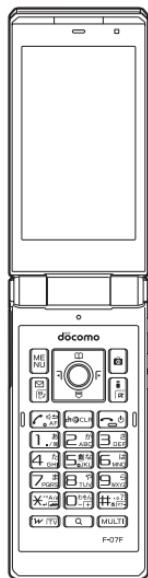
本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

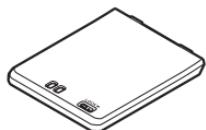
本体付属品および主なオプション品

〈本体付属品〉

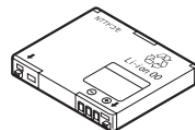
F-07F（保証書付き）



リアカバー F82



電池パック F22



卓上ホルダ F33

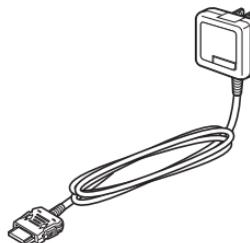


取扱説明書



〈主なオプション品〉

FOMA AC アダプタ 01 / 02
(保証書、取扱説明書付き)



その他のオプション品→P415

本書の見かた

- ・この『F-07F取扱説明書』の本文中においては、「F-07F」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- ・本書では、microSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要です。
microSDカードについて→P276
- ・本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・本FOMA端末は、きせかえツール（→P95）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。
- ・ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
本書は、きせかえツールの設定が「Aluminium」、カラーテーマ設定が「ホワイト」の場合で説明しています。
- ・本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応 i アプリ」を「おサイフケータイ対応 i アプリ」と記載しています。
- ・本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。
端末暗証番号→P102
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することができます。

【】 基本的な操作手順とキーの表記

- ・本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。→P22「各部の名称と機能」
- ・操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

| 表記の例 | 意味 |
|--|--|
| | を1秒以上押し続ける。 |
| [MENU] 8 5 2 ► 各項目を設定 [確定] ► [登録] | 待受画面で [MENU] を選んだ後、 8 5 2 を順番に選ぶ。続けて各項目を設定し、最後に [登録] を選ぶ。 ※ [] 内の表記はガイド行表示を表します。 |

- ・本書では (マルチカーソルキー) で項目にカーソルを合わせ、 (決定キー) を押す操作を「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後に [確定] を押す操作を省略しています。
- ・本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください (→P388)。なお、本書内のメッセージはマチキャラを設定しない場合で記載しています。

目 次

| | |
|---------------------|-----|
| ■FOMA端末のご使用にあたって | 表紙裏 |
| ■本体付属品および主なオプション品 | 1 |
| ■本書の見かた | 2 |
| ■安全上のご注意（必ずお守りください） | 6 |
| ■取り扱い上のご注意 | 13 |
| ■防水／防塵性能 | 17 |

ご使用前の確認 21

各部の名称と機能 ディスプレイの見かた メニュー選択 docomo Palette UI モーションセンサー 使いかたガイド ドコモminiUIMカード 電池パックの取り付け／取り外し 充電 電池残量 電源を入れる／切る 日付時刻設定 発信者番号通知設定 プロフィールの確認 など

電話／テレビ電話 51

電話をかける リダイヤル／着信履歴 声の宅配便 186／184 発信オプション WORLD CALL ブッシュ信号 (DTMF) ハンズフリー 電話を受ける 応答保留 公共モード 伝言メモ テレビ電話切替機能通知 テレビ電話動作設定 など

電話帳 71

電話帳登録 電話帳検索／修正 グループ設定 シークレット属性 クイックダイヤル など

音／画面／照明設定 81

着信音 音量設定 バイブレータ設定 マナーモード マナーサポート設定 ライフスタイル設定 待受画面選択 電話発着信画像 メール送受信画像 プライバシービュー ecoモード設定 表示メニュー設定 マチキャラ設定 きせかえツール イルミネーション設定 時計表示設定 Select language など

あんしん設定 101

暗証番号 端末暗証番号設定 PINコード オールロック おまかせロック セルフモード パーソナルデータロック ダイヤル発信制限 プライバシーモード HOLD 自動キーロック 親子モード 着信許可／拒否設定 ケータイデータお預かりサービス 各種設定リセット データー削除 遠隔初期化／遠隔カスタマイズ など

メール 125

i モードメール作成・送信 デコメール® デコメアニメ® ファイルの添付 i モードメール保存／編集 送信予約 クイックメール i モードメール受信 メール／メッセージ問合せ メールBOXの操作 メール設定 メッセージR/F 緊急速報 「エリアメール」 SMS作成・送信 など

i モード／フルブラウザ 155

i Menu表示 ホームページ表示 Bookmark 画面メモ RSSリーダー データのダウンロード／アップロード i モード／web設定 証明書操作 など

i モーション・ムービー／i チャネル／i コンシェル 175

i モーション ムービー i チャネル テロップ表示 i コンシェル など

カメラ 181

静止画撮影 動画撮影 撮影時の設定 バーコードリーダー 名刺リーダー など

ワンセグ 199

チャンネル設定 視聴 番組表 i アプリデータ放送 テレビリンク マルチウィンドウ 録画 予約 など

Music 213

音楽データやうた文字の保存 音楽データの再生／管理・利用 音楽再生音優先設定 など

i アプリ / i ウィジェット ... 223

ダウンロード i アプリ起動 i アプリ
コール i アプリ待受画面 i アプリの
管理 i ウィジェット など

おサイフケータイ / トルカ ... 239

ICカードロック トルカ取得 など

地図・GPS機能 ... 247

地図 / ナビ 現在地確認 GPS対応 i ア
プリ 位置提供 現在地通知 オート
GPS 位置履歴 / オートGPS履歴 地図
設定 GPSの設定 など

データ管理 ... 259

データBOX 画像表示 / 編集 マイコレ
クション 動画 / i モーション再生 / 編
集 マチキャラ表示 キャラ電表示 メロ
ディ再生 コンテンツパッケージ表示
microSDカード 各種データ管理 赤外
線通信 / iC通信 ポイスレコーダー
PDFデータ表示 Word、Excel、
PowerPointファイルの表示 ワンセグ
の録画データの表示 など

便利な機能 301

しゃべって検索 音声クリック起動 ク
リック検索 ウォーキング / Exカウン
ター マルチアクセス マルチタスク 自
動電源ON / OFF お知らせタイマー ア
ラーム ワンタッチアラーム スケジュー
ル セレクトメニュー サイドキー長押し
設定 イミテーションコール 待受中音声
メモ 通話時間 / 通話料金 電卓 メモ
電子辞書 方位磁石 スイッチ付イヤホン
マイク Bluetooth® 機能 印刷機能 端
末リフレッシュ設定 フェムトセル など

文字入力 331

入力設定 かな入力方式 2タッチ入力方
式 定型文 文字コピー / 切り取り 区点
コード入力 単語登録 パスワードマネー
ジャー ダウンロード辞書 音声入力 中
国語入力 など

ネットワークサービス 345

留守番電話サービス 着信通知サービス
キャッチホン 転送でんわサービス 迷惑
電話ストップサービス 番号通知お願い
サービス 英語ガイドンス ドコモへのお
問い合わせ 通話中の着信動作選択 遠隔
操作設定 マルチナンバー 2in1 サー
비스追加 など

海外利用 355

国際ローミング (WORLD WING) の概
要 利用できるサービス 海外利用の準備
と確認 電話をかける / 受ける ネット
ワークサーチ設定 優先ネットワーク設
定 3G/GSM切替 在圏状態表示 ロー^{ミング}ガイドンス 海外での着信設定
ネットワークサービス など

パソコン接続 365

データ通信 ドコモ コネクションマネー
ジャ ドコモケータイ datalink など

無線LAN 371

アクセスポイントモード (親機) 無線
設定 接続先 (APN) 設定 APモードオ
ン クライアントモード (子機) 新規接
続先設定 無線LANモードオン / オフ
F-LINK ホームメディア など

付録 / 困ったときには 387

メニュー一覧 マルチアクセスの組み合
わせ オプション・関連機器 エラーメッ
セージ一覧 保証とアフターサービス 端
末エラー情報送信設定 ソフトウェア更
新 スキャン機能 主な仕様 携帯電話機
の比吸収率 (SAR) 知的財産権 など

索引 441

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| | |
|--|--|
|  危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
|  警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
|  注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。 |

● 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|--|--|
|  禁止 | 禁止（してはいけないこと）を示します。 |
|  分解禁止 | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
|  水濡れ禁止 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
|  濡れ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
|  指示 | 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |
|  電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

■ 「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

| | |
|---|----|
| FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）..... | 7 |
| FOMA端末の取り扱い..... | 8 |
| 電池パックの取り扱い..... | 9 |
| アダプタ、卓上ホルダの取り扱い..... | 10 |
| ドコモminiUIMカードの取り扱い..... | 11 |
| 医用電気機器近くでの取り扱い..... | 11 |
| 材質一覧..... | 12 |

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険



高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

防水性能についてはこちらをご参照ください。→P17「防水／防塵性能」



充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

FOMA端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないとください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
 - ・FOMA端末の電源を切る。
 - ・電池パックをFOMA端末から取り外す。
- 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落として、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触るとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱い



赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。



目に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

FOMA端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることで、機内でFOMA端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。



指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレーター(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。



ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

△注意



ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



誤ってディスプレイを破損し、液晶など内部の物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶など内部の物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹼で水洗いしてください。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P12「材質一覧」



FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆ 電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

| 表 示 | 電池の種類 |
|-----------|-----------|
| Li-ion 00 | リチウムイオン電池 |

△危険



端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠️ 警告



落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。



ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠️ 注意



一般的のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆ アダプタ、卓上ホルダの取り扱い



⚠️ 警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電の原因となります。



コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



FOMA端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れた手でアダプタのコードや充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書をご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

FOMA端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードの取り扱い



指示

ドコモminiUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前にFOMA端末を電波の出ない状態に切り替えてください（セルフモードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内におけるFOMA端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

| 使用箇所 | | 材質 | 表面処理 |
|-----------|---------------|---------------|----------|
| 外装ケース | 可動部 背面ディスプレイ面 | PC+GF樹脂 | UVハードコート |
| | 可動部 ディスプレイ面 | PA-GF樹脂 | UVハードコート |
| | 固定部 操作キー面 | PA-GF樹脂 | UVハードコート |
| | 固定部 電池面 | PC+ABS樹脂 | UVハードコート |
| | ヒンジ部 可動側 | PC+ABS樹脂 | UVハードコート |
| | ヒンジ部 固定側 | PC+ABS樹脂 | UVハードコート |
| | リアカバー | PC+ABS樹脂 | UVハードコート |
| | リアカバー ブレード | PCシート、シリコーンゴム | なし |
| | リアカバー ロックレバー | POM樹脂 | シボ加工 |
| | リアカバー ロックブレード | ステンレス鋼 | なし |
| ケースパッド | | ウレタン樹脂 | なし |
| ディスプレイパネル | 高強度アクリル樹脂 | UVハードコート | |
| 背面パネル | アクリル樹脂 +PC樹脂 | UVハードコート | |

■卓上ホルダ F33

| 使用箇所 | | 材質 | 表面処理 |
|-----------|------------|----------|------------------------|
| 外装ケース | 上ケース | ABS樹脂 | なし |
| | 下ケース | ABS樹脂 | なし |
| | フロントフック | POM樹脂 | なし |
| | サイドフック | POM樹脂 | なし |
| 充電端子 | 端子レバー | POM樹脂 | なし |
| | 接点部 | リン青銅 | 金メッキ |
| ゴム足 | | ウレタンフォーム | なし |
| 外部接続端子 | | ステンレス鋼 | 錫メッキ |
| 電池端子 | 電池端子コネクタ本体 | PPS樹脂 | なし |
| | 電池端子 | ベリリウム銅 | 金メッキ (下地 Ni-Pd メッキ) |
| ネジ(電池収納部) | | ステンレス鋼 | なし |
| 電池収納面 | | プリント基板 | 金メッキ |
| 電池パック F22 | 電池パック本体 | PC樹脂 | なし |
| | 端子部 | ベリリウム銅 | 金メッキ |
| 充電端子 | 接点部 | ステンレス鋼 | 金メッキ |
| | 接点ホルダ部 | LCP樹脂 | なし |

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- F-07Fは防水／防塵性能を有しておりますが、FOMA端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
 - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがあることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
 - 傷つくことがあります。故障、破損の原因となります。
- オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中・充電中、FOMA端末は温かくなります。異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色、焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キヤップを閉じた状態でご使用ください。
 - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
 - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
 - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

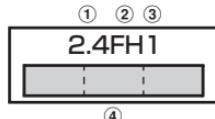
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般的の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがあります、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使わないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について**
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ [] : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
利用可能なチャネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

FOMA端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

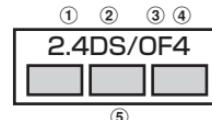
1. FOMA端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、FOMA端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆ 無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行ふため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて**
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ [] : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク[®]」がFOMA端末の銘板シールに表示されております。

FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願ひいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

- FMトランスマッタは日本国内で使用してください。

FOMA端末のFMトランスマッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆FMトランスマッタについて

- FOMA端末のFMトランスマッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は77.4～85.0MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご使用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

防水／防塵性能

F-07Fは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP5X^{*3}の防塵性能を有しています。

*1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

*2 F-07FにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-07Fを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有すること、また、常温で水道水、かつ静水の中に沈めている約30分間に静止画／動画撮影ができるすることを意味します。

*3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

◆ F-07Fが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます。

- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。

- 水深1.5mのプールの中で静止画／動画撮影ができます。

- 水中で静止画／動画撮影以外の操作を行わないでください。
- プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、常温の水道水で手洗い（→P17）し、所定の方法（→P19）で水抜きしてください。

- 常温の水道水で手洗いすることができます。

- 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
- 規定（→P17）以上の強い水流を直接当てないでください。
- ブラシやスポンジ、石鹼、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着した場合は、開閉操作をせず、洗面器などに溜めた水道水中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
- 洗った後は所定の方法（→P19）で水抜きしてください。

◆ 風呂場で使用できます。

- 湯船には漬けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P19）で水抜きしてください。

- 温泉や石鹼、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に漬けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。

- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

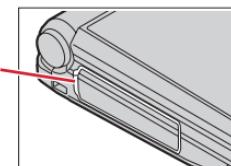
- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などにFOMA端末を持ち込むときは、FOMA端末が常温になるまで待ってください。

- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

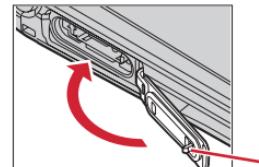
◆ 防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けけてキャップを開けてください。



また、外部接続端子使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→P42

- ・リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ・マイク（送話口）、受話口、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- ・落とさないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ・外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹼／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流
を当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。ACアダプタを接続していない状態でも、付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んでいる場合は、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。
- ・規定（→P17）以上の強い水流を直接当てないでください。F-07FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- ・万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- ・熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ・FOMA端末を開いた状態で水中を移動したり、水面に叩きつけたりしないでください。
- ・プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- ・FOMA端末は水に浮きません。
- ・水滴が付着したまま放置しないでください。充電端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ・マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- ・リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- ・外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ・外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判断した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

FOMA端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

- ① FOMA端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭いてください。

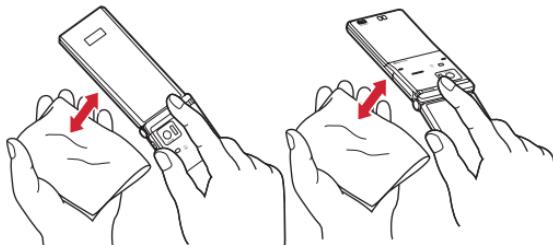


- ② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

スピーカーの水抜きのために
スピーカーを上にして振る



- ③ マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を10回程度振るよう押し当てて確実に拭き取ってください。



- ④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ことがあります。
- ・隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

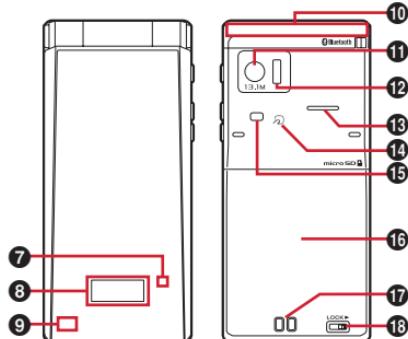
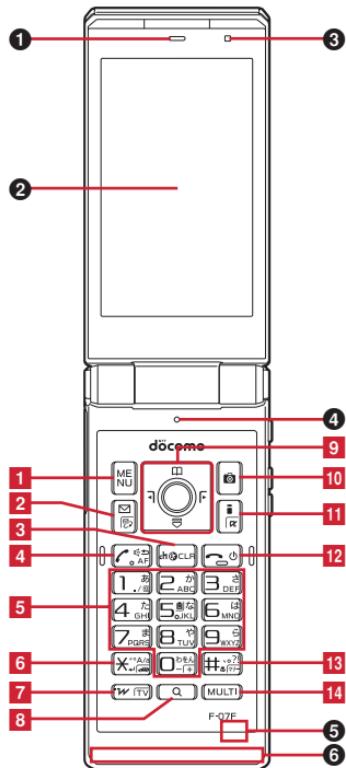
充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ・FOMA端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・FOMA端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- ・外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ・ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

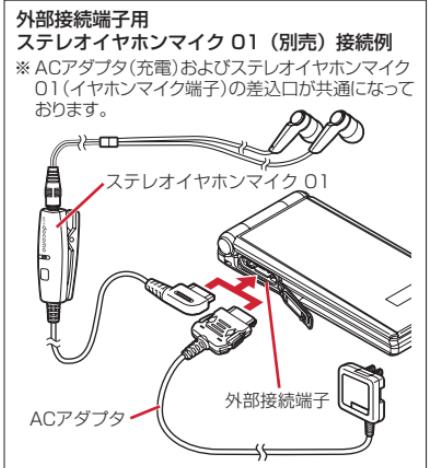
ご使用前の確認

| | |
|-----------------------------------|----|
| 各部の名称と機能 | 22 |
| ディスプレイの見かた | 25 |
| 背面ディスプレイの見かた | 31 |
| メニューの選択 | 33 |
| docomo Palette UI | 36 |
| モーションセンサー | 38 |
| 使いかたガイド | 39 |
| ドコモ miniUIM カード | 39 |
| 電池パックの取り付け／取り外し | 42 |
| 充電 | 44 |
| 電池残量 | 46 |
| 電源を入れる／切る | 47 |
| 日付時刻設定 | 48 |
| 発信者番号通知設定 | 49 |
| プロフィールの確認 ～自分の電話番号を確認する～ | 49 |

各部の名称と機能



〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。



〈各部の機能〉

① 受話口

相手の声をここから聞く

② ディスプレイ→P25

③ 光センサー

周囲の明るさの感知（画面の明るさの自動調整）
※ ふさぐと正しく調整されない場合があります。

④ マイク（送話口）

通話や音声メモ録音時などに自分の声をここから送る

※ 使用中にふさがないでください。

⑤ Bluetooth／無線LANアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑥ ワンセグ／FMトランスミッタアンテナ部→

P201

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑦ ランプ

充電中、不在着信お知らせやイルミネーション設定に従って動作するほか、ミュージックプレーヤーの操作中、アラーム（スヌーズ中）、メモのアラーム、お知らせタイマー・鳴動中など、さまざまな状態を点灯・点滅でお知らせ

⑧ 背面ディスプレイ→P31

⑨ GPSアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑩ FOMAアンテナ部

※ アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑪ カメラ

静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

⑫ 赤外線ポート→P291、295

赤外線通信、赤外線リモコン

⑬ スピーカー

着信音や、ハンズフリー ONで通話中の相手の声などをここから聞く

⑭ ノマーク→P240、291

ICカードの搭載

※ ノマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、IC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⑮ ライト／撮影お知らせランプ→P67、188、295、314

テレビ電話や静止画／動画撮影時などのカメラのライト、簡易ライト、ボイスレコーダー録音時に点滅

⑯ リアカバー

※ リアカバーと電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。→P39、277
※ リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。

⑰ 充電端子

⑯ リアカバーのレバー→P42

⑯ ストラップ取付口

⑯ 外部接続端子

充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子

※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 02、ステレオイヤホンマイク 01などを接続できます。

〈キーの機能〉

各キーの主な機能は次のとおりです。

- ：押す ■：1秒以上押す

① MENUキー

●メニューの表示
●ガイド表示領域左上に表示される操作の実行
■HOLDの起動／解除

② メール／文字キー

●メールメニューの表示
●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行
●文字入力モードの切り替え
■メール／メッセージ問合せ

③ CLRch/a／クリアキー

●i チャネル一覧の表示、i アプリ待受画面とi アプリ起動の切り替え
●文字の消去、1つ前の画面に戻る

④ 音声電話開始（開始キー）／ハンズフリー／AFキー

●音声電話をかける／受ける、ハンズフリーの通話切り替え
●文字入力中に1つ前の文字に戻す、手動オートフォーカス
■音声クリック起動の実行
■文字列を1つ前の状態に戻す

⑤ ダイヤルキー

■1～9
●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択
■セレクトメニューに登録されている機能の実行（お買い上げ時の状態で⑤を1秒以上押すと、ecoモードON/OFFの切り替え）

⑥ 0

●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択
■国際電話をかけるときの「+」の入力

- 6** * / A/a / 改行 / 公共モード (ドライブモード) キー
 ●「*」や「_」「。」の入力、大文字／小文字切り替え
 ●文字入力時の改行、メニュー・項目選択
 ■公共モード (ドライブモード) の起動／解除
- 7** i ウィジェット / TVキー
 ● i ウィジェットの起動／終了
 ■ワンセグ視聴やマルチウィンドウの切り替え
- 8** Q サーチキー
 ● クイック検索の起動
 ■しゃべって検索の起動
- 9** マルチカーソルキー^{※1}
 決定キー
 ●操作の実行、フォーカスモードの実行
 ■ワンタッチ i アプリ起動
 電話帳／↑キー
 ●電話帳の表示
 ●音量調整、上方向へのカーソル移動
 ■プライバシーモードの起動／解除^{※2}
 ショートカット一覧／↓キー
 ●ショートカット一覧の表示
 ●音量調整、下方向へのカーソル移動
 MyFACE (左) / ←キー
 ●MyFACEの表示、着信履歴の表示^{※3}、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
 MyFACE (右) / →キー
 ●MyFACEの表示、リダイヤルの表示^{※3}、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
- 10** カメラキー
 ●静止画撮影の起動
 ●ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
- 11** i モード / i アプリキー
 ● i モード接続して i Menuを表示
 ●ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
 ■ i アプリフォルダ一覧を表示

- 12** (電源) / 終了キー
 ●応答保留、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）、待受カスタマイズの表示／非表示
 ■2秒以上押す：電源を入れる／切る
- 13** # / マナーモードキー
 ●「#」や「_」「。」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択
 ●カメラ使用時のAFモードのサブメニュー表示
 ■マナーモードの起動／解除
- 14** MULTI マルチタスクキー
 ●電話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）
 ■プライバシービューの起動／解除
- 15** サイドキー
 サイドカメラキー
 ●動画撮影の起動、カメラ起動時の静止画撮影や動画撮影開始／停止、ミュージックプレーヤーや動画／i モーションの再生中の操作
 ■ワンセグ視聴中のビデオ録画開始／停止、ミュージックプレーヤーの終了
 ■FOMA端末を閉じているときはミュージックプレーヤーの起動^{※4}

 ●着信音や各種アラーム音、バイブレータの停止
 ■着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止
 ■待受画面表示中に伝言メモ／音声メモの起動
 ■FOMA端末を閉じているときはマナーモード設定／解除^{※4}

 ■待受画面表示中にメール／メッセージ問合せ、ビデオ再生中の音量消音
 ■FOMA端末を閉じているときはメール／メッセージ問合せ^{※4}

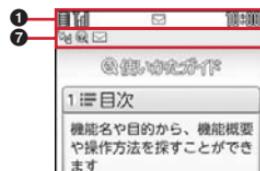
- 、、 共通
 ●FOMA端末を閉じているときは背面ディスプレイの照明点灯、表示切り替え
、 共通
 ●各種音量調整、ページスクロール
 ■FOMA端末を閉じているときはワンタッチアラームの起動^{※5}
- ※1 操作の説明では、 (上下)、 (左右)、 (4方向)、 (斜め方向を含む8方向)と表記する場合があります。
- ※2 ブライバシーモード起動設定の起動／解除操作が「標準」の場合の動作です。
- ※3 MyFACE利用設定が「利用しない」の場合の動作です。
- ※4 サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。
- ※5 ワンタッチアラーム設定が「ON」の場合の動作です。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示される情報の見かたや操作を説明します。

◆ アイコンや情報の見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で新着情報や現在の状態（ステータス）、動作中の機能（タスク）などを確認できます。



① ステータスエリア

ステータスアイコンを表示するほかに、待受画面でエリアを選択するとアイコン詳細画面から設定や確認の操作ができます。→P30

• ステータスエリア（上段）のアイコン→P25

• ステータスエリア（下段）のアイコン→P27

② MyFACEの更新通知→P91

③ ウォーキング／EXカウンター→P304

④ マチキャラ→P94

⑤ 新着情報→P30

⑥ ショートカット→P30

⑦ タスクエリア→P27

■ ステータスエリア（上段）

ディスプレイ上部のステータスエリアの上段に表示されるアイコンは次のとおりです。機能によっては、アイコンの表示位置が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

① : 電池アイコン→P46

② : アンテナアイコン→P47

③ : 圏外表示→P47

④ : セルフモード中→P107

⑤ : 使用できないドコモminiUIMカードを挿入中→P40

⑥ : データ転送モード中^{*1}→P112, 277, 291, 325

⑦ : iモード中（iモード接続中）／（パケット通信中）→P156

⑧ : 自動キーロック中→P113

⑨ : 赤外線通信中→P292

⑩ : 赤外線リモコン使用中→P295

⑪ (青) / ⑫ (グレー) : Bluetoothオン／省電力中→P324

⑫ : 積算通話料金が上限を超過→P316

⑬ : ハンズフリー対応機器で通信中→P60

⑭ : Bluetoothハンズフリー通信中→P324

⑮ : Bluetoothヘッドセット通信中→P324

⑯ : ハンズフリー ON→P61

⑰ : BluetoothキーBOARD通信中→P325

⑱ (青) / ⑲ (黄) / ⑳ (赤) / ㉑ (青) / ㉒ (黄) / ㉓ (赤) : 利用中のネットワーク
→P357

㉔ : フェムトセル利用可能→P329

*2 ⑥ GPS測位中→P250

(青)：位置提供設定中→P252

(緑)：位置提供設定中かつオートGPS機能起動中

(グレー)：位置提供設定中（許可期間外）→P252

(グレー)：位置提供設定中（許可期間外）かつオートGPS機能起動中

AUTO：オートGPS機能起動中→P255

⑦ / / 無線LAN接続中／無線LAN接続中（IPアドレス自動取得失敗）／無線LANでフルブラウザ起動中／無線LANで通信中→P380

/ 無線LANモードオンで圈外

*2 ⑧ 未読のエリアメール、メール、iコンシェルのインフォメーション、メッセージR/F状態表示→P134、149、150、152、180

未読エリアメールあり

自動送信メール送信中／圈内自動送信メールあり→P132

予約送信失敗メールあり→P132

未読 i モードメール、SMS満杯かつドコモminiUIMカードにSMS満杯

未読 i モードメール、SMS満杯

ドコモminiUIMカードにSMS満杯

未読 i モードメールとSMSあり

未読 i モードメールあり

未読SMSあり

R^{*3} (赤) / R^{*3} (青)：未読メッセージR満杯／あり

F^{*3} (赤) / F^{*3} (緑)：未読メッセージF満杯／あり

C^{*3}：iコンシェルの新着インフォメーションあり

*2 ⑨ センターに i モードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり

/ センターに i モードメールまたはメッセージR/F満杯

センターに未受信の i モードメールとメッセージR/Fあり

/ センターに未受信の i モードメール、メッセージR/Fのいずれかがあり

端末を傾けてブラウザ画面スクロール可能→P159

/ i モードブラウザ画面表示中（ノーマルモード）／（スクロールモード）→P159

RSSリーダー表示中→P166

/ フルブラウザ画面をスクロールモードで表示中（ケータイモード）／（PCレイアウトモード）

/ フルブラウザ画面をノーマルモードで表示中（ケータイモード）／（PCレイアウトモード）

*2 ⑩ 電話帳、メモ・スケジュールがシークレット属性→P79、311

/ USB経由でパケット発信・通信中／送受信中

/ Bluetooth経由でパケット発信・通信中／送受信中

/ アクセスポイントモード通信中／アクセスポイントモードデータ送受信中→P375

/ SSL/TLSページのフレーム拡大表示中に他のフレーム通信中／SSL/TLSページのフレーム拡大表示中→P160

/ SSL/TLSページ表示中／i アプリでSSL/TLS通信中、SSL/TLSページからダウンロードした i アプリを使用中→P157

/ フレーム拡大表示中に他のフレーム通信中／フレーム拡大表示中→P160

ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中→P307

/ 親子モード設定中→P115

*2 ⑪ i アプリ／i アプリDX、i アプリコールの状態表示→P225、231、232

/ i アプリ動作中

(オレンジ)：i アプリ待受画面から i アプリ起動中

(グレー)：i アプリ待受画面表示中

: i アプリDX動作中

(オレンジ)：i アプリDX待受画面から i アプリ起動中

(グレー)：i アプリDX待受画面表示中

: i アプリ動作中で i アプリコール受信あり

(オレンジ)：i アプリ待受画面から i アプリ起動中で i アプリコール受信あり

(グレー)：i アプリ待受画面表示中で i アプリコール受信あり

: i アプリDX動作中で i アプリコール受信あり

(オレンジ)：i アプリDX待受画面から i アプリ起動中で i アプリコール受信あり

(グレー)：i アプリDX待受画面表示中で i アプリコール受信あり

: i アプリコール受信あり

⑫ USBモードの状態表示→P286

通信モード中（UBSケーブル接続時に表示）

(矢印が青) / microSDモード中／設定中

(矢印が青) / MTPモード中／設定中

※²₄

- ⑯: メモのアラームやワンセグ視聴／録画予約と、アラームを同時に設定中→P208、306、308
 ⑰: アラーム設定中→P306
 ⑱: ワンセグ視聴／録画予約中、メモのアラーム設定中→P208、308
 ※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になり、さらにマルチタスクの利用もできなくなります。
 ※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
 ※3 未読 i モードメールがある場合は、小さいアイコンで表示されます。
 ※4 待受画面以外のときなどは時刻が表示されます。

■ステータスエリア（下段）

待受画面表示中にディスプレイ上部のステータスエリア（下段）に表示されるアイコンは次のとおりです。



- ①: マナーモード中→P85
 ②: オリジナルマナーモードまたはサイレントマナーモード中→P86
 ③: 電話着信音量消音設定中→P83
 指: 音声電話着信のバイブレーター設定中→P84
 ④: 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレーターを同時に設定中
 ⑤: 公共モード（ドライブモード）中→P65
 ⑥: (青) / (グレー): マナーサポート動作中／一時停止中→P87
 ⑦: 伝言メモ設定中／満杯→P66
 ⑧: ダイヤル発信制限中→P108
 ⑨: GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→P251
 ⑩: パーソナルデータロック中→P107
 ⑪: ワンセグ予約録画失敗／完了→P209
 ※⑫: ドコモminiUIMカード読み込み中→P40、47
 ⑬: ICカードロック中→P242
 ⑭: 遠隔カスタマイズ中→P123
 ⑮: メール自動返信設定中→P146

※⁹

- ⑯: ネットワーク再検索可能→P359
 ⑰: ワンセグ予約または視聴のみ終了で録画準備中／FOMA端末に録画中／microSDカードに録画中→P207、209

- ⑱: マチキャラ更新可能→P94
 ⑲: i アプリ自動起動失敗→P231
 ⑳: (緑): ecoモード中→P93
 (グレー): ecoモード自動起動設定中→P94
 ㉑: microSDカードあり
 ㉒: microSDカードありで使用不可

- ㉓: USBケーブルで外部機器と接続中→P70、287
 ㉔: ウォーキング／Exカウンター設定中→P304

- ㉕: ソフトウェア更新書き換え予告→P428
 ㉖: ソフトウェア更新予約中→P429
 ㉗: 更新お知らせアイコン→P428
 ㉘: 最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P431

※ 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

■タスクエリア

タスクエリアには、動作中の機能（タスク）を示す次のようなアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

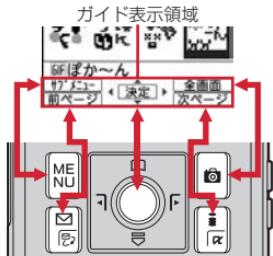
- ㉙: 使いかたガイド
 ㉚: しゃべって検索
 ㉛: 音声電話
 ㉜: 着信履歴
 ㉝: リダイヤル
 ㉞: 伝言メモ／音声メモ
 ㉟: テレビ電話
 ㉟: 外部機器によるテレビ電話
 ㉟: 電話（切り替え中）
 ㉟: 電話（切断中）
 ㉟: 電話帳
 ㉟: ブライバシーモードのシークレット反映
 ㉟: マナーサポート
 ㉟: させかえツール
 ㉟: メール／メッセージR/F
 ㉟: エリアメール
 ㉟: i モードメール受信中

- : i モード／SMS問い合わせ中
- : メール送信履歴／受信履歴
- : SMS受信中
- : i モード（サイト閲覧履歴や画面メモの一覧表示中、Bookmark、ツータッチサイト表示を含む）／PDFデータ表示中（フルブラウザから保存したデータ表示時／i モードブラウザから部分取得したデータの残り取得時）
- : フルブラウザ／PDFデータ表示中（フルブラウザから部分取得したデータの残り取得時）
- : i コンシェル
- : 静止画撮影
- : 動画撮影
- : バーコードリーダー
- : 名刺リーダー
- : 冠名印刷
- : ワンセグ
- : ミュージックプレーヤー
- : i アプリ
- : トルカ
- : GPSの現在地確認
- : GPSの位置提供
- : GPSの現在地通知
- : GPSの位置履歴／オートGPS履歴
- : オートGPS機能
- : マイピクチャ
- : 動画／i モーション
- : マチキャラ
- : キャラ電
- : メロディ
- : イルミネーション
- : コンテンツパッケージ
- : マイコレクション
- (青) / (グレー) : microSDカードへアクセス中／アクセス待機中
- : ボイスレコーダー
- : マイドキュメント（PDFデータ）のフォルダ、データ一覧表示中
- : その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
- : マルチタスクで音量設定中
- : 画像サーチ

- : お知らせタイマー
- : アラーム
- : ワンタッチアラーム
- : メモ・スケジュール／メモのアラーム鳴動中（ワンセグの開始通知含む）
- : イミテーションコール
- : プロフィール
- : 電卓
- : ウォーキング／Exカウンター
- : 検索サービス
- : 電子辞書
- : 方位磁石
- : Bluetooth機能
- : USB経由またはBluetooth機能経由でパケット通信中
- : Bluetooth機能経由で64Kデータ通信中
- : お預かりセンターに接続中
- : ケータイデータお預かりサービスの通信履歴表示中
- : ネットワークサービス設定中
- : 64Kデータ通信中
- : 外部データ連携中
- : 無線LAN
- : F-LINK
- : ホームメディア
- / : ソフトウェア更新／更新の通知あり
- : パターンデータ更新／バージョン表示中
- (グレー) : 各機能の設定中／保留中

◆ ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、**[MENU]**、**[✉]**、**[📞]**、**[📷]**、**[☒]**を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。表示位置とキーは、図のように対応しています。



- ガイド表示領域の \blacktriangleleft は、マルチカーソルキーの \blacksquare に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆ 一覧画面の見かた



- 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
- 数字や記号が表示されている項目は、対応するキー（**[1]~[9]**、**[0]**、**[◀]**、**[▶]**）を押しても選択できます。
- \blacktriangleleft は上下方向に選択項目が、 \blacktriangleright は他のページがあることを示します。 \blacksquare や \square で表示を切り替えます。
- FOMA端末の使用中の共有領域とデータ全体で利用する共有領域の容量が表示されます。
- 一覧が複数ページにわたる場合は、項目にカーソルを移動したりすると、一覧画面の右端に、ページなどを示すインデックスが数秒間表示されます。総ページ数の目安が表示され、現在の位置が青色で表示されます。メニュー一覧が複数ページにわたる場合は、スクロールバーが表示されます。

◆ i ウィジェット画面

i ウィジェット画面でもガイド表示領域と同様に、キーに対応する操作が表示されます。→P235

◆待受画面アイコンの利用

待受画面に新着情報やiコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズ、ショートカットを設定しているときは、待受画面で[□]を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

- ・フォーカスモード中は、[MENU]を押してもメニューを表示できません（ショートカットにカーソルがあるときはを除く）。

1 [□] アイコンにカーソル [□]



カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます。

解除 : アイコンにカーソルがある状態で[CLR]または[□]

- ・カーソル位置のアイコンやウィジェットが赤い枠で囲まれるか、ショートカットアイコンが青色になると、マルチカーソルキーでカーソルを移動できます。

■ 新着情報のアイコン

- ・新着情報アイコンを選択した場合の動作は次のようになります。

[i] 2(不在着信) : 着信履歴一覧が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの不在着信のみがある場合は[0][1]、AナンバーとBナンバーの不在着信がある場合は[0][2]が表示されます。

[i] 1(伝言メモ) : 伝言メモ一覧が表示されます。

[i] 1(留守番電話サービスの伝言メッセージ) : メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合は[0][1]、AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがある場合は[0][2]が表示されます。

[e] 2(未読メール) : 受信メールの一覧が表示されます。

[e] 2(未読トルカ) : 最新的未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。

[i] 2(iアプリコール) : iアプリコール履歴が表示されます。

- ・新着情報アイコンにカーソルを合わせて[CLR]を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージの場合は、表示消去の確認画面が表示されます。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。

■ ステータスエリア(下段)のアイコン

- ・待受画面でステータスエリア(下段)のアイコンを選択すると対応する機能が起動します。
 - [] : USBケーブルで外部機器と接続
 - [] / [] : ソフトウェア更新書き換え予告／お知らせ
 - [] / [] : 最新パターンデータの自動更新失敗／成功
 - [] / [] : GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
 - [] : ワンセグ予約録画失敗／完了
 - [] : ネットワーク再検索
 - [] / [] : ワンセグ予約または視聴のみ終了で録画準備中／FOMA端末に録画中／microSDカードに録画中
 - [] : マチキャラ更新可能
 - [] : ウォーキング／Exカウンター

■ ステータスエリア

- ・待受画面でステータスエリアを選択すると、アイコン詳細画面が表示され、アイコンごとに現在の状態を確認できます。一覧から項目を選択すると、アイコンの種類によっては設定などができます。

■ iコンシェルのインフォメーション

- ・iコンシェルのインフォメーションを選択するとインフォメーション一覧が表示されます。→P180

■ カレンダー／待受カスタマイズの項目

- ・カレンダー／待受カスタマイズで設定した項目を選択すると、それぞれの情報が表示されます。
- ・iコンシェルのインフォメーションが表示されると、カレンダー／待受カスタマイズの項目にカーソルを移動できません。

■ ショートカット

- ・ショートカットアイコンを選択すると機能を起動できます。ショートカットアイコンにカーソルがある状態で[□]を押すと、ショートカット一覧を表示できます。→P38

背面ディスプレイの見かた

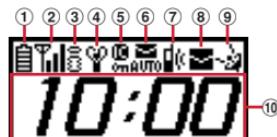
FOMA端末の背面ディスプレイでさまざまな情報や状態を確認できます。

◆ 背面ディスプレイの表示

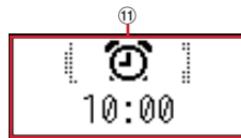
FOMA端末を閉じている場合は、背面ディスプレイにアイコンやメッセージが表示されます。不在着信や未読メールの詳細情報、ウォーキング／Exカウンターの情報を表示することもできます。

- FOMA端末を閉じると時計が表示されます。
- 一定時間何も操作しないでいると消灯しますが、やを押したり、時報設定による正時の通知があると再び点灯します。背面自動点灯設定が「ON」の場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けても照明が自動点灯します。
- オールロック、おまかせロック、HOLD中は、やを押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと時計表示に切り替わります。
- モーションセンサー設定を「ON」にすると、FOMA端末の傾きに合わせて時計表示が180度変わります。

❖表示されるアイコンや状態



アイコンと時計（横表示）



状態表示（例：アラーム鳴動中）

- ①  : 電池アイコン
- ②  : アンテナアイコン
- ③  : 圏外表示
- ④  : セルフモード中
- ⑤  : 使用できないドコモminiUIMカードを挿入中
- ⑥  : データ転送モード中
- ⑦  : iモード中 (iモード接続中) / (パケット通信中)
- ⑧  : マナーモード中
- ⑨  : オリジナルマナーモード中
- ⑩  : ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中
- ⑪  : ICカードロック中
- ⑫  : 圏内自動送信メールあり、日時指定送信メール送信中
- ⑬  : 圏内自動送信失敗メールあり
- ⑭  : 不在着信/伝言メモ/留守番電話サービスの伝言メッセージあり
- ⑮  : 未読エラーメールあり/未読iモードメール/SMS満杯/未読iモードメール/SMSあり
- ⑯  : 未読メッセージR満杯/あり
- ⑰  : 未読メッセージF満杯/あり
- ⑱  : iコンシェルの新着インフォメーションあり
- ⑲  : センターにiモードメール/メッセージR/F満杯/あり
- ⑳  : 未読iモードメールやSMSがある場合、R/F/Fは縮小して表示されます。

⑨ GPS測位中

 GPS: 位置提供設定中／許可期間外

 GPS: 位置提供設定中かつオートGPS機能起動中

 GPS: 位置提供設定中（許可期間外）かつオートGPS機能起動中

 GPS: オートGPS機能起動中

⑩ 時計が表示されます。

⑪ 次の状態をメッセージや画像でお知らせします。

- ・音声電話やテレビ電話（留守番電話サービスの伝言メッセージ含む）、伝言メモの状態表示
- ・i モードメールやSMS、メッセージR/Fの問合せ中・受信中、エリアメールや i コンシェルのインフォメーションの受信中
- ・GPSの現在地確認、位置提供、現在地通知などの状態表示
- ・ワンセグ視聴／録画中、ビデオ再生中、ミュージックプレーヤー起動中
- ・アラームやメモのアラーム（ワンセグの開始通知含む）鳴動中、お知らせタイマーのカウントダウン中や鳴動中
- ・パケット通信や64Kデータ通信、USB経由での通信、赤外線通信、iC通信、Bluetooth通信、無線LANの状態表示
- ・お預かりサイト接続中、マナーサポートの操作要求
- ・認証操作の要求や結果、各種ロックの状態表示、電池残量なし
- ・簡易ライト点灯中、F-LINK起動中、ホームメディア起動中

※ 現在、優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

✓お知らせ

- 表面パネルの特性により、日光が当たる場所では表示が見えにくい場合があります。そのときは日陰で確認するか、手で影を作って表示を確認してください。

❖表示の切り替え

時計が表示されている場合は、を押すたびに大きな時計→日付と時計→アイコンと時計の順に切り替わります。ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」のときは、を押すたびに歩数表示→活動量表示→時計表示の順に切り替わります。

- ・一定時間何も操作しないと時計表示に戻ります。

❖新着情報の表示

不在着信や伝言メモ、未読メール、未読メッセージR/F、留守番電話サービスの伝言メッセージ、i コンシェルのインフォメーションがあるときは、背面ディスプレイで件数や詳細情報を確認できます。

- ・留守番電話サービスの伝言メッセージの詳細情報は表示されません。

〈例〉不在着信の件数と詳細情報の表示

1 時計表示中に

バイブレータが1回振動し、件数が表示されます。

- ・他に新着情報がない場合はを押すと時計表示に切り替わります。新着情報の種類が複数あるときは、を押すたびに、各情報の件数や情報のあり／なしが表示されます。

2 件数表示中に

着信日時と相手の情報がスクロール表示されます。

- ・各情報が複数ある場合は、詳細表示中を押して10件まで確認できます。



- ・一定時間何も操作しないと時計表示に戻ります。
- ・時計表示中に、FOMA端末のサイド面をダブルタップしても詳細情報を表示できます。複数件ある場合は、ダブルタップするたびに、次の情報の表示に切り替わります。

メニューの選択

待受画面で [MENU] を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。

- 本書では、主にきせかえツールの設定が「Aluminium」で、カラーテーマ設定が「ホワイト」の場合で説明しています。なお、本書内のメッセージはマチキャラを設定しない場合で記載しています。
- メニューは機能ごとに分類されています。→P388

◆機能の選択方法

メニュー項目に対応したダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やドコモminiUIMカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、メニュー項目を選択すると実行できない理由などが表示されるか、文字の色が変わったり、アイコンが■で表示されたりして選択できません。
- メニュー項目の機能説明文が表示される場合があります。メニュー項目によっては機能説明文や現在の設定値が表示されます。機能説明文表示のON/OFFは切り替えることができます。→P97

❖ダイヤルキーで選択（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（項目番号）が割り当てられている場合に、対応するダイヤルキー（1～9、0）や■、■を押してメニュー項目を選択する方法です。

- 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。項目番号がないメニューは、マルチカーソルキーで選択してください。
- きせかえツールで「シンプルメニュー」を設定した場合は、項目番号が異なります。→P405
- メニューの項目番号→P388

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU 6 2



6

2

❖マルチカーソルキーで選択

▢を押して、目的のメニュー項目や表示項目にカーソルを移動し、▣を押して項目を選択する方法です。

- メニュー項目によって▢（8方向）でも操作できます。

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU ▶ 「便利ツール」にカーソル ▶ □ [決定]



カーソル位置



ノーマルメニュー

ベーシックメニュー

- ▢を押してカーソルを移動するとカーソル位置の色やデザインが変わります。メニューによっては▢での移動はできません。
- ノーマルメニューに「シンプルメニュー」を設定した場合は、カーソルを合わせて▢を押してもメニュー（2階層目まで）が選択できます。

2 「電卓」にカーソル ▶ □ [決定]

❖待受画面や1つ前のメニューに戻す

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

[]：待受画面に戻ります。

[CLR]：1つ前のメニューに戻ります。メニューによっては、[□]を押しても戻ります。

❖ページを切り替えて選択

メニューなどに「1/2」などページ番号が表示されている場合や、画面右側にインデックスやスクロールバーが表示される場合は、複数ページにわたりてメニューがあることを示しています。その場合は、[□]や[△]を押して、ページを切り替えます。

- 画像の選択画面で一行に複数項目表示されている場合などは、一覧画面によっては[□]を押してもページを切り替えられません。

◆メニュー画面の種類と切り替え

❖メニュー画面の種類

次のメニュー画面が利用できます。

■ノーマルメニュー

させかえツールを利用して、デザインを変更できるメニューです。→P95
動画に対応したメニューの他に、文字が大きくて見やすい「拡大メニュー」や、「シンプルメニュー」も利用できます。お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたノーマルメニューが設定されています。

■ベーシックメニュー

メニュー構成とメニュー番号が固定のメニューです。

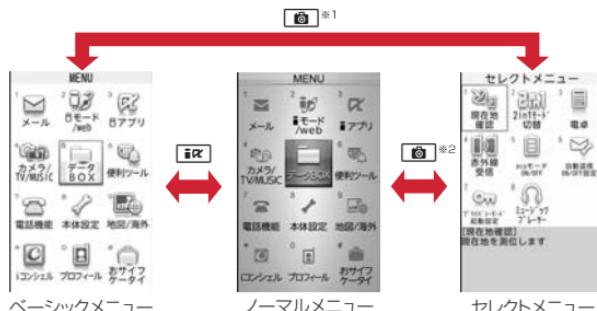
- メニューのカスタマイズによって、メニューアイコンや背景のデザインは変更することができます。→P96
- メニューの文字の大きさは、させかえツールに連動して変わります。

■セレクトメニュー

メニュー項目を自由に登録できるメニューです。→P313

❖メニュー画面を一時的に切り替える

各メニュー画面では、次の操作で一時的に別のメニュー画面に切り替えることができます。待受画面で[MENU]を押したときにどのメニュー画面を表示するかを設定することもできます。→P94



※1 表示メニュー設定で、ノーマルメニューまたはセレクトメニューが設定されているときは切り替えられません。

※2 表示メニュー設定で、ベーシックメニューが設定されているときは切り替えられません。

❖お知らせ

- ノーマルメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

◆ サブメニューの選択

ガイド表示領域の左上に「サブメニュー」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

- 1 リダイヤル一覧画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ 項目番号に対応するダイヤルキーを押す

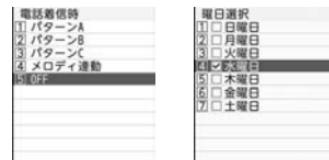


- 項目にカーソルを合わせて または を押しても選択できます。
- サブメニューが複数ページにわたる場合は、サブメニュー一覧の右側にスクロールバーが表示されます。先頭の項目または最後の項目で を押すとページを切り替えることができます。
- [MENU] または [CLR] を押すと、サブメニューが閉じます。

◆ 各項目の操作

■ 項目の選択／チェックボックスの操作

数字や が表示されている場合は対応するキーを押します。 で項目にカーソルを合わせて を押しても選択できます。



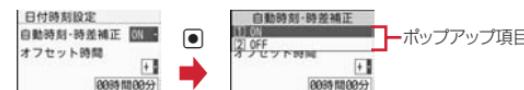
項目選択

チェックボックス

- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーション、キーイルミネーションのカラー、カラーテーマ設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。
- チェックボックスは、ダイヤルキーまたはカーソル位置で を押すたびに、 (選択) と (解除) に切り替わります。機能によっては [MENU] を押すと、すべての項目を選択または解除できます。

■ ポップアップ項目の操作

画面内に複数の設定欄がある場合などは、各設定欄の項目にカーソルを合わせて を押し、画面上部に表示された項目の番号に対応するダイヤルキーを押します。



- 表示された項目にカーソルを合わせて を押しても選択できます。

■ 確認画面の操作

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能実行の確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」などにカーソルを合わせて を押します。

- 機能によっては、表示される項目が異なります。
- 確認画面に表示された文章が複数ページにわたる場合は、 を押すとページを切り替えることができます。

待受画面を中心にさまざまな機能やサービスへ簡単にアクセスすることができます。

◆ MyFACE

待受画面の左右の領域には、サイトからMyFACEをダウンロードして貼り付けることができます。待受画面を起点に表示し、最大12個のMyFACEを利用できます。

- お買い上げ時は、発着信一覧、日々雑記、MyFACE naviが登録されています。
- MyFACEのダウンロード・貼り付け→P167
- MyFACE利用設定が「利用しない」のときは利用できません。
- MyFACE設定→P91



- 同じ操作で次々に画面を切り替え、利用するMyFACEを表示させます。



- コンテンツ提供者の設定によっては、最大で1時間に1回、自動的にMyFACEが更新されます。自動更新されると待受画面に「」が表示され、自動更新されたMyFACE表示時には「NEW」と表示されます。自動更新されたMyFACEを表示すると「NEW」は消去され、自動更新されたMyFACEをすべて表示すると「」は消去されます。
- お買い上げ時に登録されているMyFACE以外は、更新時にパケット通信料がかかります。ただし、お買い上げ時に登録されているMyFACEも、iモードの接続先設定を変更したときや国際ローミング中は、パケット通信料がかかります。

- 国際ローミング中は、ローミング時自動更新設定が「自動更新しない」になり、MyFACEを表示すると自動更新設定の確認画面が表示されます。

■ 発着信一覧利用中の操作

- : 発着信一覧→着信履歴→リダイヤル→メール受信履歴→メール送信履歴の順に切り替え
- / : 上下スクロール
- : 電話発信画面を表示（発着信一覧、着信履歴、リダイヤル）／メールまたはSMS作成画面を表示（メール送受信履歴）

- [MENU]** : サブメニューの表示

- 表示中の画面によってサブメニュー操作は異なります。一部を除いて通常のリダイヤル／着信履歴（→P54）、メール送受信履歴（→P143）と同様の操作ができます。
- 発着信一覧では、リダイヤル／着信履歴をマークで確認できます。
- : リダイヤル
- 発着信一覧のサブメニューからリダイヤル／着信履歴を削除しても、リダイヤル／着信履歴一覧には反映されません。また、リダイヤル／着信履歴一覧のサブメニューからリダイヤル／着信履歴を削除しても、発着信一覧には反映されません。

■ 発着信一覧以外を利用中の操作

- : MyFACEの更新
- / : 上下スクロール
- : リンク先や項目の選択など

- [MENU]** : サブメニューの表示

- テキスト範囲選択、画像保存、表示・設定などの操作ができます。

❖ MyFACEの管理

並べ替えや削除、自動更新設定などを行います。

- 買い上げ時に登録されているMyFACEは、メールでURL送信、移動はできません。また、発着信一覧は、並べ替え、自動更新設定なども設定できません。
- 発着信一覧とMyFACE naviは削除できません。

1 MyFACEを表示

表示方法→P36

2 目的の操作を行う

並べ替え : [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 移動先を選択

- 発着信一覧と待受画面の間には他のMyFACEを移動できません。

削除 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ 「はい」

自動更新設定 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ [1] または [2]

- MyFACEごとに自動更新するかを設定できます。

メールでURL送信 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [4]

- MyFACE取得元サイトのURLをメールで送信します。URLは変更される場合がありますのでご注意ください。

microSDカードへ移動 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] [1] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」

- コンテンツ提供者の設定によっては移動できない場合があります。

microSD内のMyFACE一覧表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶

「microSD内のMyFACE一覧」(発着信一覧の場合) / [6] [2] (発着信一覧以外の場合)

- MyFACE一覧画面のサブメニューから「削除」「本体へ移動」「情報表示」の操作ができます。

情報表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [9] [2]

◆ ショートカット

待受画面の下の領域には、よく使う機能やデータなどをアイコンとして貼り付けることができます(ショートカット)。ショートカットを選択するとすぐに起動できます。

❖ ショートカット貼り付け

機能はメニュー画面から、フォルダやファイルなどは一覧から、ショートカットを貼り付ける操作ができます。

- 最大244件貼り付けられます。
- iモードメール(→P132)、SMS(→P151)、Bookmark(→P164)、画面メモ(→P166)を保存するときも、ショートカットを貼り付けることができます。

〈例〉機能のショートカットを貼り付ける

1 [MENU] ▶ 登録するメニュー項目にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー]

- カーソルを合わせている機能やフォルダ、ファイルやデータなどが貼り付け可能な場合は、[MENU]を押してサブメニューを表示したとき、ガイド表示領域に「ショートカット」が表示されます。
- メニュー画面からの機能の貼り付けは、買い上げ時に登録されているノーマルメニューとベーシックメニューで操作できます。
- 電話番号、メールアドレスを貼り付ける場合は、FOMA端末電話帳の詳細画面で電話番号、メールアドレスを表示して[MENU]を押すと、「ショートカット」が表示されます。
- アラーム(個別の設定)を貼り付ける場合は、アラーム一覧を表示すると「ショートカット」が表示されます。

2 [CAMERA] [ショートカット]

✓ お知らせ

- 貼り付ける機能やデータの名称が全角12(半角24)文字を超える場合は、超過部分が削除されてタイトルに登録されます。
- シークレット属性を設定した機能を含めて244件貼り付けているとき、プライバシーモード中に貼り付けを行うと、非表示になっているショートカットが削除され、新たにショートカットが貼り付けられます。
- ショートカット登録時にサムネイル画像を表示できない場合は、代替アイコンが表示されることがあります。

❖ ショートカットから起動

貼り付けたショートカットから機能を起動したり、フォルダやファイル、データなどを表示したりします。

1 [□]▶[□]▶ショートカットを選択

- ショートカット一覧でグループタブを選択するたびに、グループ内のショートカットの表示／非表示を切り替えられます。タブの右側にグループ内のショートカット数が表示されます。
- ショートカット一覧で[□]を1秒以上押すと、グループへ連続カーソル移動できます。

❖ ショートカットの管理

ショートカット一覧でショートカットの移動や削除、待受ショートカット設定、ショートカットのグループ管理などを行います。

- グループは最大24件登録できます。

1 [□]▶[□]

2 目的の操作を行う

ショートカットの移動：ショートカットにカーソルを合わせて[□]（1秒以上）▶移動先を選択▶[□]【決定】

- ショートカット一覧の最下部に移動すると、新規グループが作成されます。

ショートカットの削除：[□]【削除】▶ショートカットを選択▶[□]【確定】▶「はい」

- [MENU]を押すと、全選択／全解除ができます。

ショートカットの追加：ショートカットにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[□]▶機能選択画面で機能にカーソル▶[□]【貼り付け】

- 機能選択画面のサブメニューから「+の追加」「メニュー画面を登録」「ダイヤル入力を登録」「検索を登録」の操作ができます。「+の追加」を選択すると「新規追加」のショートカットを貼り付けられ、このショートカットからもショートカット追加操作ができます。

待受ショートカット設定：ショートカットにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[□]▶「常に表示」または「使用時のみ表示」

- グループに登録していない先頭から4つのショートカットを待受画面に表示するかを設定します。「使用時のみ表示」にすると、フォーカスモード中のみ表示されます。

グループ作成：[MENU]【サブメニュー】▶「新規グループ作成」▶グループ名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶[□]【決定】

グループの移動：グループタブにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[□]▶「1」▶移動先を選択▶[□]【決定】

グループの削除：グループタブにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[□]▶「2」▶「はい」

- グループを削除するとグループに登録されているショートカットも削除されます。
- 他にもショートカットのサブメニューから「名称変更」、グループタブのサブメニューから「グループ名称変更」「グループ色変更」の操作ができます。名称は全角12（半角24）文字以内で変更できます。

✓お知らせ

- フォルダやファイルなどを削除した場合は、ショートカットも削除されます。
- 電話帳の電話番号やメールアドレスを変更、削除しても、ショートカットを登録したときの情報が残ります。ただし、電話帳を削除したり他の電話帳で上書きしたりするとショートカットは削除されます。
- ショートカットに貼り付けている未送信メールを送信すると、ショートカットは削除されます。
- ファイルなどを移動してもショートカットから起動できますが、microSDカードに移動すると起動できなくなり、ショートカットが削除されます。

モーションセンサー

モーションセンサーを利用すると、FOMA端末をダブルタップ（2回叩く）したり、傾けることでさまざまな操作ができます。

■ FOMA端末をダブルタップ

- FOMA端末を閉じた状態で、アラームやメモのアラーム、お知らせタイマー鳴動中にFOMA端末をダブルタップすると、鳴動が停止します。
- 背面ディスプレイに時計が表示されている状態で、FOMA端末のサイド面をダブルタップすると、新着情報の詳細を表示できます。

■ FOMA端末を傾ける

- FOMA端末の傾きに合わせて、縦画面と横画面が切り替わったり（オートローテーション）、表示や動作が変化したりします。ただし、機能によっては対応していないものがあります。
- 静止画撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります（自動縦横判定）。
- ブラウザ画面で□または▢を1秒以上押すと、FOMA端末を傾けることで、画面をスクロールできる操作が可能となります。

✓お知らせ

- 歩行中や振動の多い場所では、FOMA端末を傾けてのブラウザ画面のスクロールは正しく動作しません。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでやめください。

◆モーションセンサー設定

モーションセンサーやオートローテーションの有効／無効を設定します。

1 MENU □ 8 □ 9 □ 0 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

モーションセンサー：モーションセンサーを有効にするかを設定します。

オートローテーション：「ON」にすると、オートローテーションに対応したすべての機能が有効になります。「設定項目のみ有効」にして、各項目にカーソルを合わせてMENUを押すと、各機能のオートローテーションの説明が表示されます。

- マイコレクションのアルバム内の画像と動画のオートローテーションは、「マイピクチャ」と「i モーション・ムービー／レコーダー番組」の設定で動作します。

使いかたガイド

知りたい機能や困ったときの対処などを、目次、索引、キーワードなどから調べることができます。また、ブックマークを利用したり、便利なサイトを案内するページに接続したりすることもできます。

- 使いかたガイドでの操作手順は、お買い上げ時の設定をもとに説明しています。また、表記と意味は本書での表記ルールに従っています。

1 MENU □ 6 □ ▶ 検索方法を選択

- 説明画面では、「この機能を使う」や「お知らせ」を選択すると、機能を実行したり、お知らせを表示できます。また「関連機能」内の各リンク項目や「コチラ」を選択すると、関連する説明画面が表示されます。
- 説明画面のサブメニューから、ズーム（文字サイズの変更）や、ブックマーク（最大20件）の登録ができます。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

- 本FOMA端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモminiUIMカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- ドコモminiUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

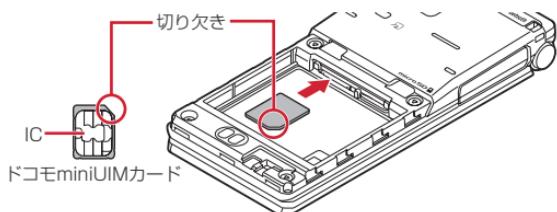
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

電源を切ってからFOMA端末を閉じ、リアカバーと電池パックを取り外した状態で手に持つて行ってください。→P42

- ICに触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

■ 取り付けかた

ドコモminiUIMカードのIC面を下にしてスロットにゆっくり差し込み、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む



■ 取り外しかた

ドコモminiUIMカードを軽く押し込み、飛び出したドコモminiUIMカードをまっすぐ引き出す

✓ お知らせ

- ドコモminiUIMカードの無理な取り付けや取り外しなどによって、ドコモminiUIMカードが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモminiUIMカードとmicroSDカードのスロット位置をご注意ください。間違って取り付けると、取り外せなくなる場合があり、故障の原因となります。なお、取り外せない場合は、ドコモショップなど窓口にお持ちください。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

- 暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P104

◆ ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のドコモminiUIMカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
 - テレビ電話伝言メモ、動画メモ、画面メモ
 - iモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメール®や署名に挿入されている画像、デコマアニメ®テンプレート、メッセージR/Fの添付ファイルや本文中の画像、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
 - iアプリ（iアプリ待受画面を含む）、トルカ（詳細）の画像
 - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、iモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、Word、Excel、PowerPointファイル、マチキャラ、コンテンツパッケージ
 - MyFACE、ダウンロードフォント、ダウンロード辞書
 - させかえツール、着うた®・着うたフル®、うた文字
- ※「着うた」「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機器とのデータ送受信、microSDカードへのコピーや移動ができません。
- 異なるドコモminiUIMカードに差し替えた場合やドコモminiUIMカードを差し込んでいない場合、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されたiアプリは、削除以外の操作ができません。

✓お知らせ

- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるドコモminiUIMカードに差し替えて使用したり、ドコモminiUIMカードを差し込む前に使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時や標準のデータで動作します。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したドコモminiUIMカードを差し込むと、データのドコモminiUIMカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データを待受スライドショーに利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、Bluetooth機器でのデータ受信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はドコモminiUIMカードに保存されます。
 - 自局電話番号
 - SMS設定（「送達通知設定」以外）
 - Select language、UIMカード（FOMAカード）設定、優先ネットワーク設定

◆ ドコモminiUIMカード差し替え時の設定

FOMA端末に取り付けられているドコモminiUIMカードを別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合、次の設定は変更されます。

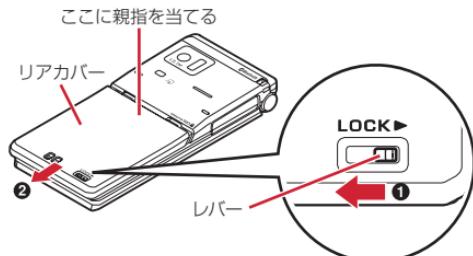
| 設 定 | 変更内容 |
|---|---|
| プロファイルの自局電話番号、Select language、SMS設定（「送達通知設定」以外）、UIMカード（FOMAカード）設定のPIN1コードとPIN2コード、PIN1入力ON／OFF切替、優先ネットワーク設定 | 差し替えたドコモminiUIMカードに保存されている内容に変更されます。 |
| テロップ表示設定、通話料金自動リセット設定、i ウィジェット海外利用設定、オートGPSサービス情報の設定、日付時刻設定、マナーサポート検知設定の乗り物マナーサポート | お買い上げ時の設定に戻ります。 <ul style="list-style-type: none">テロップ表示設定は「テロップ表示設定」のみ、日付時刻設定は自動時刻・時差補正が「OFF」のときに日付と時刻のみがお買い上げ時の設定に戻ります。 |
| フルブラウザ利用設定 | 差し替え前の設定に関わらず「利用しない」に設定されます。 |
| Cookie設定 | 差し替え前の設定に関わらず「無効」に設定されます。Cookie情報は保持されますが、再度、有効に設定すると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されます。 |

電池パックの取り付け／取り外し

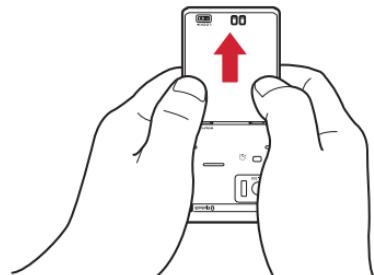
- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- リアカバーのレバーは常にロックして使用してください。ロックせずに使用すると、リアカバーが外れる場合があります。

■ 取り付けかた

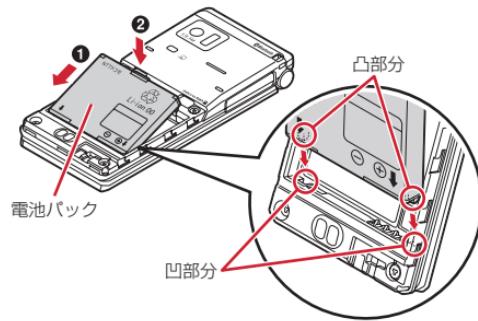
- ① リアカバーのレバーを①の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、②の方向に約2mmスライドさせて外す



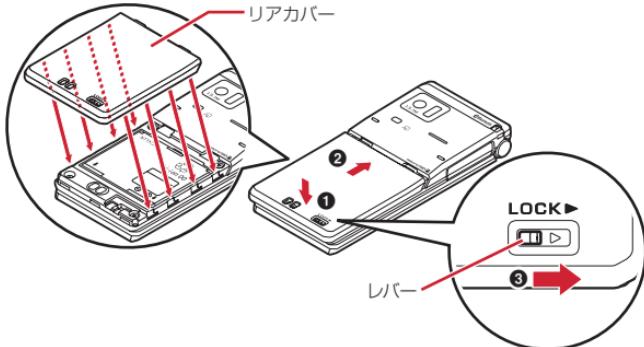
※ リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、下図のように両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。



- ② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて①の方向に差し込み、さらに、②の方向に押し付けてはめ込む

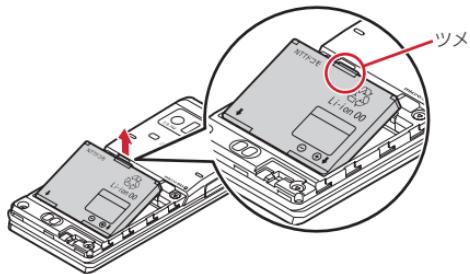


- ③ リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように①の方向に押さえながら、②の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを③の方向にスライドさせてロックする



■ 取り外しかた

- ① 取り付けかたの操作①を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す



✓お知らせ・

- 電池パックを無理に取り付けようするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 他の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷をつけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

❖電池パックの上手な使いかた

- 電源を入れたままの長時間（数日間）充電はおやめください。
FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや付属の卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



Li-ion 00

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-07Fの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F22をご利用ください。

◆充電時間（目安）

F-07Fの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

| | |
|--------|-------|
| ACアダプタ | 約130分 |
| DCアダプタ | 約130分 |

◆十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

| | | |
|-------------|---------|----------------|
| 連続待受時間 | FOMA／3G | 静止時（自動）：約630時間 |
| | GSM | 静止時（自動）：約310時間 |
| 連続通話時間 | FOMA／3G | 音声電話時：約250分 |
| | GSM | 約320分 |
| 連続テレビ電話通話時間 | | 約100分 |
| ワンセグ視聴時間 | | 約280分 |

- 連続待受時間とは、F-07Fを閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態・機能設定状況・気温などの使用環境・利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。
- 通話やiモード通信をしなくとも、カメラ、ワンセグ、iアプリ、オートGPS、無線LAN、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が多い場合、通話（通信）・待受時間は短くなります。

◆電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっています。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になつたら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらiアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

◆充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ01（別売）、FOMA DCアダプタ01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

◆お知らせ

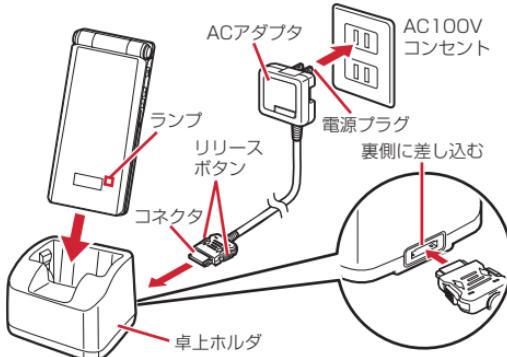
- iアプリによっては、FOMA端末を閉じていても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、動画／iモーション再生中、ミュージックプレーヤー起動中、iアプリの動作中などに充電を開始するとご使用の充電アダプタによっては電池残量が減り、充電が完了しないことがあります。FOMA端末の異常ではありません。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明設定の照明点灯時間設定で通常時を「常時点灯」にした状態で充電するなど、設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。
- 充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

❖ ACアダプタや卓上ホルダで充電する

別売のACアダプタの取扱説明書もご覧ください。

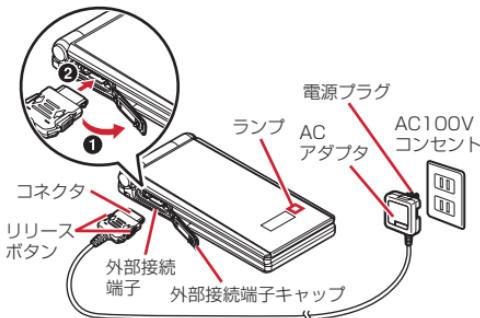
■ 卓上ホルダと組み合わせて充電する

- ① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして付属の卓上ホルダへ水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
- ③ FOMA端末を開じた状態で、卓上ホルダに差し込む
※ FOMA端末の向きをよくご確認の上、正しく差し込んでください。無理に差し込むと破損の原因となります。
- ※ ランプが点灯したことを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。
- ④ 充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外す



■ ACアダプタだけで充電する

- ① 外部接続端子キャップを開き（①）、コネクタを矢印の表記面を上にして外部接続端子に水平に差し込む（②）
- ② 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
※ ランプが点灯したことを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。
- ③ 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く



❖ 自動車の中で充電するには

FOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。

- ・詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- ・FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタープラグをシガーライターソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- ・DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

✓お知らせ

- ・ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかかるないようにゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

◆充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが「パブリカ」で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや付属の卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音が「OFF」の場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 充電が完了してからも充電を続いていると、電池が消耗するため電池残量表示が100%にならない場合があります。
- 充電中はiC送信（iアプリタッチの利用を含む）ができません。

電池残量

ディスプレイに表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

- (電池残量5)：十分残っています（81～100%）。
- (電池残量4)：やや少なくなっています（61～80%）。
- (電池残量3)：少くなっています（41～60%）。
- (電池残量2)：だいぶ少くなっています（21～40%）。
- (電池残量1)：ほとんどありません（20%以下）。充電が必要です。
- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。また、画面オフの状態からディスプレイの照明が点灯したときは、約3秒間だけ電池アイコンがパーセントの表示（■～■）になります。
- 電池残量の表示はあくまでも目安です。20%以下になった場合は、早めに充電してください。
- 使用状況によっては電池残量が大きく変動することがあります。
- お買い上げ時は、電池残量が40%になるとecoモード自動起動設定によりecoモードのON/OFFが切り替わります。

◆電池残量を音と表示で確認

電池残量を音と表示で確認できます。

MENU 8 7 3

電池残量が表示され、キー確認音（→P84）に設定した音が音量設定の電話着信音量で、残量に応じた回数分鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

◆電池が切れそうになると

電池残量が0%になると、電池がない旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を開いた状態で□、CLR、[■]のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくたつとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は[■]を押します。

✓お知らせ

- 電池残量の表示精度を高くするため、残量情報の補正を行っています。補正情報は電池パック固有の情報のため、電池パックが交換された場合はリセットされます。このため、電池パックを取り付けた直後は、一時的に誤差が大きくなることがあります。
- 電池残量をパーセントで表示する場合、補正が行われる過程で表示が20%程度増減することがありますが、故障ではありません。ただし、残量20%程度の表示から補正が行われた場合は、急に0%の表示になり、電池アラームが鳴ることがありますのでご注意ください。
- 次の場合は、電池残量表示の誤差が一時的に大きくなる可能性があります。
 - 古い電池パック（使用頻度が高い電池パック）を使用した
 - 新しい電池パックと古い電池パックを交互に使用した
 - 電池パックとFOMA端末の温度差が大きい状態で使用した
 - 長時間放置した電池パックを使用した
- 3個以上の電池パックを交互に使用すると、電池残量の表示精度が極端に低くなる恐れがありますのでご注意ください。
- FOMA端末使用中は自動的に電池の使用状況が記録されます。この記録は故障修理の際の診断でのみ利用するものです。あらかじめご了承ください。

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 [電] (2秒以上)

ウェイクアップ画面が表示された後、待機画面が表示されます。ドコモminiUIMカードの読み込み中は[電]が表示されます。

- ディスプレイに表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

| アイコン | ■ ■ ■ ↑ | ■ |
|-------|---------|-------------------|
| 受信レベル | 強 ← → 弱 | サービスエリア外や電波の届かない所 |

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- 電源が入っている状態で電池パックを取り外してすぐに取り付け直すと、自動的に電源が入り、再起動の確認画面が表示されます。

❖電源を切る

1 [電] (2秒以上)

◆初めて電源を入れたとき（初期設定）

初めて電源を入れたときは、初期設定を行います。設定した内容は後から変更できます。

- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面と端末エラー情報送信設定の確認画面が表示されます。

❖ 初期設定

- ・端末暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。

1 初期設定画面で各項目を設定▶ [8] [終了]

- ・日付時刻設定→P48
- ・端末暗証番号設定→P103
- ・キー確認音設定（操作確認音）→P84
- ・文字サイズ設定→P99
- ・位置提供可否設定→P252

メニュー操作から設定：MENU [8] [9] [2] ▶ 各項目を設定▶ [8] [終了]

❖ Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、待受画面に [2]（未読メールの新着情報アイコン）が表示され、着信を知らせるランプが点滅します。

1 [8] ▶ 新着情報アイコンを選択▶ メールを選択

✓ お知らせ

- ・ドコモminiUIMカードを差し替えたときは、電源を入れた後に認証操作を行う必要があります。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし、再び電源を入れることは可能です）。
- ・ディスプレイが表示されている状態で何も操作しないでいると、照明設定の画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的に消灯します。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。

- ・自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1 MENU [8] [5] [1] ▶ 各項目を設定▶ [8] [登録]

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかを設定します。

- ・「ON」にすると、オフセット時間が設定できます。
- ・「OFF」にすると、日付と時刻、タイムゾーン、サマータイムが設定できます。

オフセット時間：「+」にすると、補正される時刻から設定した時間進めて、「-」にすると、補正される時刻から設定した時間遅らせて表示されます。

日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。

サマータイム：「ON」にすると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✓ お知らせ

〈自動時刻・時差補正を「ON」に設定したとき〉

- ・電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。
 - ・海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
 - ・海外のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
 - ・時刻や時差の補正には、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- ##### 〈自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したとき〉
- ・電池パックの取り外しや電池が切れたまま長い間充電しなかったことによって日付・時刻が消去された場合は、充電後にもう一度日付・時刻を設定してください。

発信者番号通知設定

音声電話やテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- ・ 詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- ・ 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- ・ 圏外では設定の操作はできません。

1 MENU 7 4 3 2 ▶ 1 または 2

設定内容の確認： MENU 7 4 3 1 ▶ 「はい」

❖ 発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

- ① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P57
- ② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P56
- ③ 電話帳の発番号設定→P76
- ④ 発信者番号通知設定→P49

✓お知らせ

- ・ 電話をかけたときに番号通知お願いガイドが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

プロフィールの確認

機種名称、登録した名前、自局電話番号（ご契約電話番号）、メールアドレスなどを確認します。

- ・ プロフィール登録→P314

1 MENU 0

通話中などに確認： MULTI ▶ 0

✓お知らせ

- ・ i モードのメールアドレスの確認方法については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 2in1がデュアルモード時は、を押してAナンバーとBナンバーのプロファイルを切り替えられます。
- ・ 2in1がONのときにドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィールからBナンバーを取得してください。→ P350、352
- ・ ドコモminiUIMカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロファイルに更新するために、2in1をOFFしてください。